

夢見ヶ崎動物公園の“いのちを感じる”取組の実施について

～人と生きもの、人と自然、人と人が出会う、いのちを感じる夢見ヶ崎動物公園の新たなステージを、さあ、いっしょに～

夢見ヶ崎動物公園は、昨年の令和6年度に開園50周年の節目を迎え、令和7年度に新しい始まりを市民の皆様と一緒に歩いていく「ゆめみ50+1アクション」の取組を進めています。

この取組の一つとして、夢見ヶ崎動物公園に新たにヤギやロバなどの動物たち6種を仲間に迎え入れ、計52種280点（7月末現在）の動物の飼育・展示により、“いのちを感じる”動物園として担う、種の保存、環境教育、調査・研究、レクリエーションといった動物園の4つの役割を踏まえた活動の充実を図ります。

また、生態系保全などの環境教育の取組として、9月23日（火・祝）に生物多様性セミナーを開催いたします。

今年新たに仲間入りした動物たち

ヤギ・チリーフラミンゴ・ファンボルトペンギン・テンジクネズミ・オグロプレーリードッグ・ロバの6種類の動物が種の保存などを目的として仲間入りしました。ぜひ会いにきてください！

種名	特徴	飼養頭数 (7月末現在)
ヤギ	昔から人と生活してきた、馴染み深く人気の種。	4
チリーフラミンゴ	綺麗なピンクの羽根色が美しい水辺の鳥。警戒心が強く、群れとなって一斉に行動します。	14
ファンボルトペンギン	野生では絶滅が危惧されている種で、日本の動物園水族館で協力して繁殖を行っています。	8
テンジクネズミ	毛色や性格が多種多様で愛らしいしぐさが人気。	17
プレーリードッグ	リスの仲間で、複雑な巣穴を掘って、家族からなる群れで暮らします。餌の時には仲良く並んで食べる姿が見られ、多くの来園者を魅了しています。	5
ロバ	多くの国でヒトの生活に深く関わってきた動物で、当園でも飼育歴が長く人気があります。昨年、ロバのカガヤが死亡してからロバが不在となっていました。今回ご縁があり来園しました。	1



プレーリードッグ



ファンボルトペンギン



ロバ



ヤギ

生物多様性セミナー

身近な野生動物のことを知ろう！ ～探鳥会&川崎市にいる野鳥と傷病野生動物の救護のお話～

夢見ヶ崎動物公園勤務獣医師と神奈川県野生動物リハビリテーターから、幸区内にある加瀬山の自然の中で野鳥観察方法を教わる生物多様性セミナーを行います。

セミナーでは、園内のパークセンターにて、市内で見ることができる鳥類と、負傷野生動物保護についての紹介、自然環境と外来種に関する説明も行い、自然への興味の誘起及び生物多様性への理解の促進を図ります。

1 日時

令和7年9月23日（火・祝） 9時半～11時半

（健康福祉局がアニマモール川崎（動物愛護センター）で行う動物愛護フェアと同日コラボ開催）

2 場所

夢見ヶ崎動物公園（川崎市幸区南加瀬1-2-1）

3 セミナー内容

- ・野鳥観察方法のレクチャー
- ・市内で見ることができる鳥類と、負傷野生動物保護についての紹介
- ・自然環境と外来種に関する説明
（雨天時は、実施内容を変更する場合があります。）

4 実施機関

主催 川崎市建設緑政局 共催 環境局・健康福祉局

5 参加者

30名 小学校4年生以上の方

6 参加申込み方法

市サイトでの申込み（8月5日～8月22日）

（応募者多数の場合は、抽選とします。）



骨折で保護されたオオタカ



<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000178655.html>

問合せ先

（飼育動物、野鳥観察方法レクチャー、負傷動物保護等の紹介について）

川崎市建設緑政局緑政部夢見ヶ崎動物公園 小倉

電話 044-588-4030

（自然環境と外来種に関する説明について）

川崎市環境局総務部企画課 内田

電話 044-200-2385

（動物愛護フェアについて）

川崎市健康福祉局保健医療政策部生活衛生課 伊達

電話 044-200-2443